

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会  
第 14 回 (S1SC14) 議事録

日 時： 2013 年 11 月 11 日(月) 13：30～16：00

場 所： 東京都 原安進 第 1，2 会議室

出席者： 阿部(弘)主査（東北大）、馬場副主査（JNES）、下川幹事（原安進）、  
巻上 BWR 幹事（東電）、小野岡 PWR 幹事（関電）、小川委員(MHI)、  
岩本委員(GNF)、大川委員、本谷委員(東芝)、河村委員(電中研)、  
北島委員(電中研)、杉山委員(JAEA)、市田委員代理青木 (MNF)、土内委員(NFI)、  
近藤委員(日立 GE)、鈴木委員代理五十嵐(原電)、森下委員（京大）  
計 17 名（委員代理 2 名含む）

常時参加者：久保、木下、谷口（NFI）、金子(GNF)、福田(MHI)、北野(東芝)、高橋（MNF）、  
中島、工藤（JNES）、杉村（NEL）、河井（原安進）

（敬称略）

配付資料

- S1SC14-1 第 13 回分科会議事録(案)
- S1SC14-2 第 1 作業会報告書（案）
- S1SC14-3 第 2 作業会報告書（案）
- S1SC14-4 第 3 作業会報告書（案）、同（履歴付）
- S1SC14-5 今後の分科会活動日程ほか

**議事及び主な質疑応答**

**1. 資料確認**

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認が行われた。

**2. 出席者確認**

幹事より出席者数（17 名）が確認され、本分科会の定足数（14 名：委員数 20 人の 2/3 以上）を満たすことが報告された。

**3. 前回議事録(案)の確認について (S1SC14-1)**

第 1 3 回議事録(案)について、承認された。

**4. 報告書(案)について (S1SC14-4-1、14-4-2、14-4-3)**

次回の専門部会（第 26 回 12/10 予定）での報告にあたり、現状の報告書案の状況を、第 1WG は福田氏、第 2WG は近藤氏及び第 3WG は工藤氏から、それぞれ説明があり、議論した。

### 第1WG 報告書（案）について

- ・ 報告書のタイトルについて、「発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書」としているが、当初の本分科会の取り組み経緯や、学会標準化委員会傘下のシステム安全専門部会のコメント（システム安全に対する課題の整理）の観点から「炉心燃料システム」の用語の使い方を今回の成果の範囲を踏まえて今一度、整理しておく。
- ・ 第2WG、第3WGの報告書との関係づけを記載する。
- ・ 燃料システムとして、福島事故を踏まえて何が不足しているか？今後、取り組むべき課題をさらに具体化して整理するのが望ましい。
- ・ 第1WG報告書は、学会標準の報告書式に整理されていないので反映する。

### 第2WG 報告書（案）について

- ・ 課題が添付資料にまとめられているが、本文に取込むことを検討する。本文からの参照も無い。
- ・ 第1WG報告書の安全要求機能の整理を踏まえ、同様の整理もしくは第1WG報告書の整理内容への関連付けを行うとよいのでは。

### 第3WG 報告書（案）について

- ・ 第1、2WGに合わせて技術的な課題や制度的な課題などについても言及する。

## 5. その他

報告書の全体構成と今後の分科会活動の予定として以下の確認を行った。

- ・ 報告書の全体構成は第1WGの報告書に鏡文をつけて第2、3の内容を引用できるよう全体を構成する。公開版を合冊とするか、分冊とするかについては今後調整する。
- ・ 12月10日に予定されている専門部会への報告にむけて、現状の報告書についてさらに充実をはかるため分科会メンバーによる相互査読を実施する。
- ・ 安全専門部会長への事前レクの予定を確認する。
- ・ 分科会委員及び作業会委員の委嘱期間については2年延長する。

### 次回 開催日

回りの分科会開催日は、12月5日（木）午前とする。

以 上